

令和7年度 長崎県立宇久高等学校 学校関係者評価報告

1 評価の実施期日・場所

令和8年2月24日（火） 本校 図書館

宇久高共育デザインサミット（コミュニティスクール）第3回協議会

2 評価者

コミュニティスクール委員

3 学校評価の内容

- (1) 学校評価の結果について
- (2) 学校評価を踏まえた今後の改善策について
- (3) 今後の重点目標等について

全員から「適切である」という評価をいただいた。

4 関係者からの意見

- 評価項目の「積極的な広報活動ができている」の評価が高い。従来からのHPだけでなく、公式インスタグラムを毎日更新しており、日常生活の様子はもちろん、生徒の表情が見える工夫をしている。
- 小中高合同歓迎遠足の形式を、歓迎交流会に変えることに不安があったが、小学生に対して高校生が丁寧に接してくれていた。
- 中高合同体育大会の時期を変更したのは良かったと思う。熱中症対策にもなった。また、前年度を踏襲するのではなく、現状に応じて変更を加えながら行事を行う姿勢が評価できる。
- 小中高一貫教育は調整が難しく、マイナスの意見もあるかと思うが、本校の場合はどうか。
- 離島留学制度の準備で、学校側の負担は大変だと思うが、島内の生徒の刺激にもなると思うので頑張ってもらいたい。また、離島留学生は何かしらの問題・課題を抱えていると思うので、そのケアを十分に行うべき。ただし、教員の負担増が大変心配されるので、島民全体でこの制度に取り組まなければならない。

5 学校側の対応等

- 他校との英語を通じた交流については、今年度3回実施。レベルの違いはあったが、懸命に話そうとする姿勢がみられ、実施して良かった。来年度も継続していきたい。
- 小中高それぞれの行事や都合を調整するのは、大変苦勞するところだが、異校種の授業を見る機会に恵まれ、教員としては勉強になることが多い。また、生徒の視点では、小中学生と協力して行事に取り組むので、精神的な成長も得られ、様々な効果があると思う。